

観光博覧会への出展

市長短信
H29年8月25日

1 日本最大の観光博覧会「ツーリズムEXPOジャパン2017」への出展

■ ツーリズムEXPOジャパンとは

- 概要：2014年から毎年開催されている国内最大の観光展示会。
ブース展示だけでなく、商談会やフォーラムも開催される。
- 主催：（公社）日本観光振興協会
（一社）日本旅行業協会
日本政府観光局（JNTO）
- 目的：海外・国内・訪日旅行の更なる需要を喚起する。
東京オリンピック・パラリンピックを視野に、新たな観光ビジネスの創出と発展を目指す。
- 場所：東京ビッグサイト
- 期間：2017年9月21日～24日まで（4日間）
- 特徴：今回からBtoB向け商談を強化。「展示会」から「展示商談会」へと進化させ、出展者のビジネス開拓と拡大を後押しする。
その他グローバル観光フォーラムを実施。世界へ向けてアジアにおけるツーリズムの大きな可能性を発信する。

■ 「糸島市」の単独ブースを初出展

- 来場者18万人の国内最大の観光博覧会に、「糸島市」として初出展
- 県単位で、各市町村が連携して出展する中、市単独のブースを展開
- 3.3㎡のブースに、糸島市の独自色を出して、観光面の魅力を発信する。

■ 出展の目的と期待される効果

- 糸島市の観光等情報の発信と認知拡大
- 旅行バイヤーとの人脈構築
- 新たな交流人口を取り込み、市の経済振興につなげる

【出展イメージ】



定住促進と空き家活用

2 「空き家活用」の需要と可能性

■空き家オーナー相談会&IJU（移住）相談会の手ごたえ

◎お盆の帰省時に合わせ、8月11日に相談会を開催

- 市内に空き家を所有する物件オーナーを対象に、相続・管理・改修・売買・賃貸・解体などの専門機関による「空き家オーナー相談会」を開催。
- 併せて、移住希望者を対象とした相談、地域情報・魅力等の紹介や雇用コーディネーターによる糸島での仕事紹介を実施。

◎成果

- 相談件数：全62件（空き家関連：26件、移住相談：36件）
- 東京や岐阜など、県外から相談に来た方も。アンケートの結果「役に立った」との感想がほとんどを占めており、手ごたえを感じている。
- ただし、好感触の意見が多い中、「空き家の情報が少ない」などの意見も寄せられており、課題として、今後の取組を検討する際の参考にしたい。

◎空き家の状況

- 市内の空き家総数：527軒（独自調査件数）に対し「糸島市 空き家バンク」への登録数は5年間で34軒と、依然として少ない。
- 一方で、空き家バンクに登録した際の成約率は76%と非常に高い。
- ⇒今後、市場に出ていない空き家を掘り起こし、空き家の活用を促進したい。

■民間の活力による空き家の活用

◎古民家を活用した学生寮「熱風寮 糸」のオープン

- 概要：志摩桜井の古民家（築146年）をリノベーションし、学生寮として活用。一般的な学生寮ではなく、「地域にひらかれた学生寮」をコンセプトとして、学生が地域に深く関わる拠点となる寮をめざす。
- 仕掛人：合同会社 よかごつ 大堂 良太 代表（九大卒業生）
- 内覧会：9月1日（詳細は別添参照）

⇒課題となっている空き家対策に、九州大学の活力が光明をもたらす取組である。先駆的で実用的な活用モデル、また、地域活性化の拠点となることを期待している。

